

北海道通信

日刊建設版

平成26年10月10日

斜面防災対策技術フォーラム、14 災害防止へ全国から300人

斜面防災対策技術協会

一般社団法人斜面防災対策技術協会主催の第十七回「斜面防災対策技術フォーラム」14日札幌。若い技術者のために」が九日からきょう十日まで、京王プラザホテル札幌などで開かれている「写真」。同協会の一般社団法人化以降初の全国大会で、札幌開催は十年ぶり。初日は全国各地から三百十一人が参加。講演や討論、技術発表などで研鑽を深めた。

初日の開会式では冒頭、今まで以上に国民が安心・同協会の奥山和彦会長があ、安全に住める国を目指していきつ。「本協会は全国十いきたい」とし、「現実には地震、ゲリラ豪雨、火山三支部とともに昨年一般社は地震、ゲリラ豪雨、火山団法人として認可され、今噴火など、自然にはなかなかまで以上に社会に認知されか大刀打ちできない。災害る協会となったことから、指定されている場所はほん



の数パーセントで、国内に

は数え切れない危険箇所が存在している」と指摘。

その上で、「それらに対

応できるよう、一日も早く

維持管理マニュアルを完成

させられるよう頑張ってい

る」「我々の仕事は専門家

にしかできない特殊なも

の。フォーラムが少しでも

今後の災害活動の役に立て

があいさつ。

高井副知事は「広島や礼文の土砂災害など悲惨な災

害が起きている中、当フ

ォーラムの開催は時宜を得

たもの、前田課長補佐は

「昨年は全国で約一千件の

土砂災害が起きており、こ

としは一次災害の防止が問

われる災害も多く、皆さん

の知見の交流と技術力の向

るよう期待して上に期待している、古久保局長は地震や台風、火山噴火などは必ず起るもので蓄積してきた知識をもとに的確に備えておくことが高井修道副知事、前田昭浩国土省水管理・国交省水管理・国土保全局砂防部、土保全課課長補佐、古久保英嗣道森林管理局局長の知見の交流と技術力の向

行つ予定。